

07 馬ヶ城浄水場一般開放

- 【期 日】 平成 30 年 6 月 3 日（日）10：00～16：00
- 【会 場】 愛知県瀬戸市 馬ヶ城浄水場
- 【来場者数】 565 人（大人 469 人、子供 96 人：主催者発表）
- 【内 容】 以下のとおり

愛知用水利用地域の一つである瀬戸市において毎年 6 月の水道週間に合わせて行われる「馬ヶ城浄水場一般開放」に出展しました。昨年に続き 2 回目となります。

今回も、城内では市内の水道事業に関係したパネル展示や市内 4 箇所の水源地の水道水飲み比べコーナー、地元高校生茶道部によるお茶の振る舞いが行われており、特に水道水の飲み比べには 10 時の開始前から長蛇の列ができ、多くの方が職員の説明を聴きながら、処理方法の違いによる味の違いを確かめていました。

木曾広域連合は、水道水飲み比べブースの隣でひのきの箸づくり体験と観光 PR を行いました。イベント開始直後より、飲み比べブースに参加された方がそのまま流れて申し込まれる方が多かったのですが、午前中の体験者数は 17 名に留まりました。基本的に場内の一般開放を主体としたイベントであることからブースも少なく滞留時間も短いため、申し込みをしても長く待つことができずにあきらめて帰る方もいらっしゃいました。

午後は来場者もまばらでしたが、1～2 名が体験中に新たな来場者が申し込むという適度なペースが続き、29 名の方に体験していただくことができました（1 日の体験者数 46 名）。

観光 PR としては、ブースの前にパンフレットラックを設置したほか、昨年 4 月に瀬戸市が日本遺産に認定されたつながりもあり、隣接する日本遺産紹介ブースで木曾地域のポスターやパンフレットを展示していただきました。ブースに立ち寄られた方の中には、木曾を訪れたことがあるとお話しされる方も複数いらっしゃいました。なお、ポスターやパンフレットは、市役所庁舎内でも展示していただきました。

来場者が少ない割には体験者数も多く、啓発活動としては一定の効果はあると思いますが、木曾地域の知名度を上げるためには、より多くの市民と触れ合える機会が必要と思われます。

☆ 会場の様子



木曽広域連合ブース（準備）



箸づくりの様子



開場前に並ぶ人々



市内 4 水源飲み比べコーナー



木曽地域のPRコーナー



※瀬戸市役所内ポスター展示
(瀬戸市より写真提供)